

消費者 ↓
P64
68

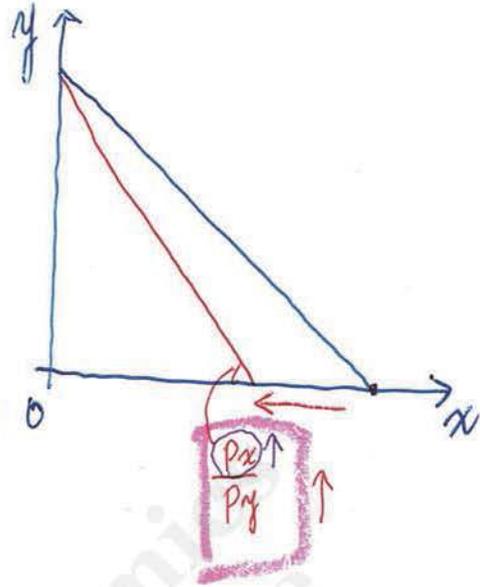
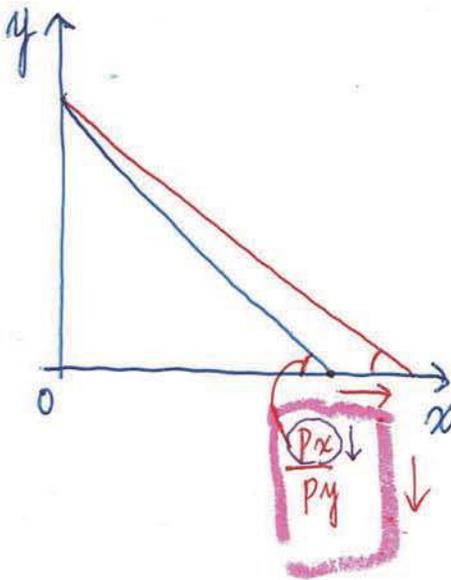
<価格の下落>

X財 ⇒ $P_x \downarrow$

<価格の上昇>

$P_x \uparrow$

需要曲線
価格変化の
効果

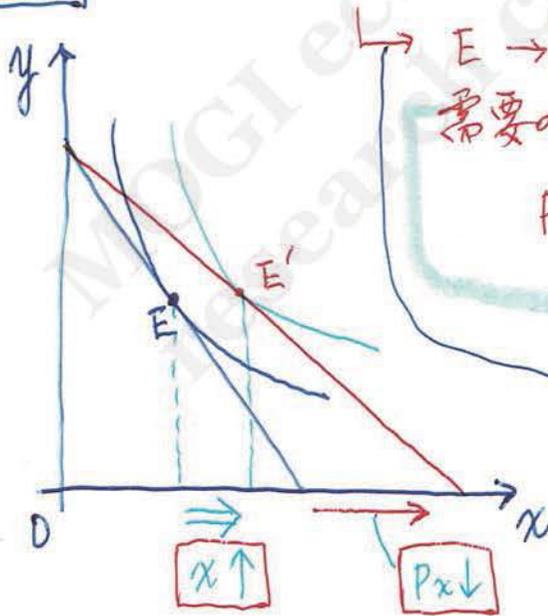


価格の変化

P66

P70

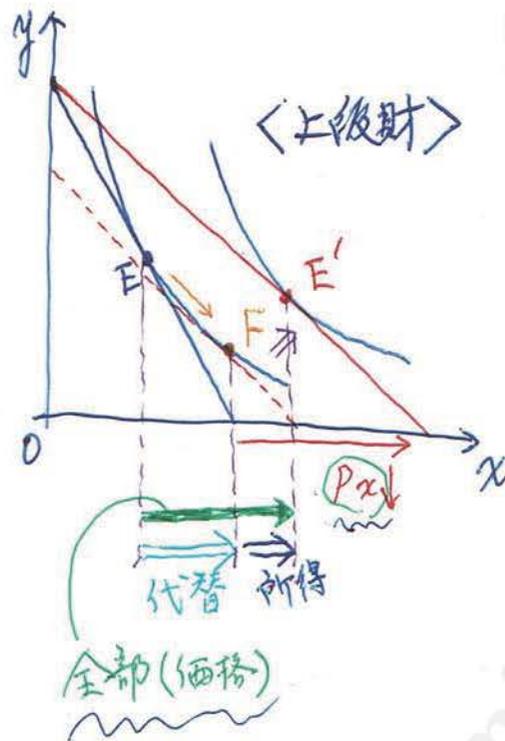
X財 → 下落 ($P_x \downarrow$)



$E \rightarrow E'$
需要の法則
 $P_x \downarrow \rightarrow x \uparrow$

$E \rightarrow F$
 $F \rightarrow E'$
分解
できる

x 財の価格(P_x)の下落



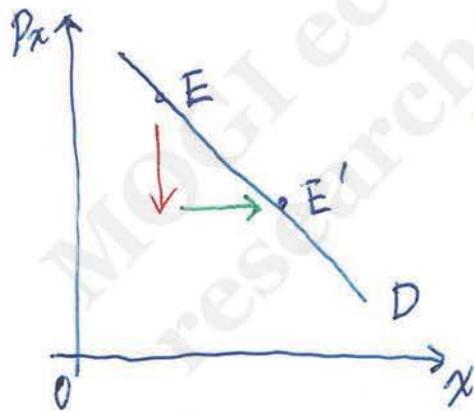
$E \rightarrow E'$
 $E \rightarrow F$
 代替効果
 <効用水準一定>

$F \rightarrow E'$
 所得効果
 (所得↑)

$P_x \downarrow \rightarrow$ 実質所得↑

名目所得
 物価↓ ↑

需要曲線



$P_x \downarrow$
 代替効果
 $x \uparrow y \downarrow$

所得効果
 $M \uparrow$
 上級財
 $x \uparrow$
 財の分類

70

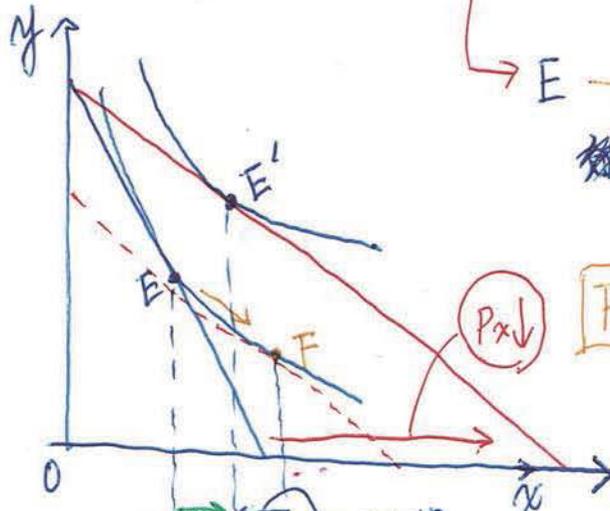
P74

代替効果
所得効果

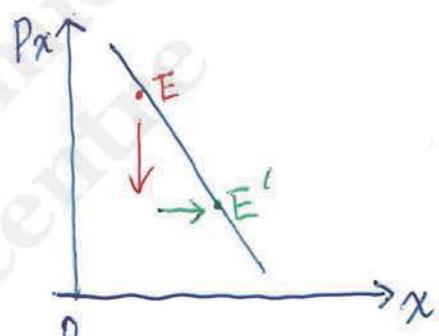
下級財

<価格の下落> ($P_x \downarrow$)

下級財



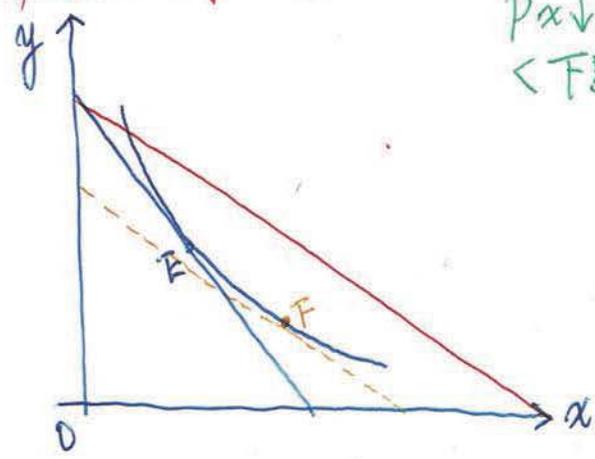
$E \rightarrow F$
 効用水準一定
 \rightarrow 代替効果 ($x \uparrow$)
 $F \rightarrow E'$
 $M \uparrow \rightarrow$ 下級財 $x \downarrow$
 打ち消している



価格の下落
 $P_x \downarrow$
 下級財

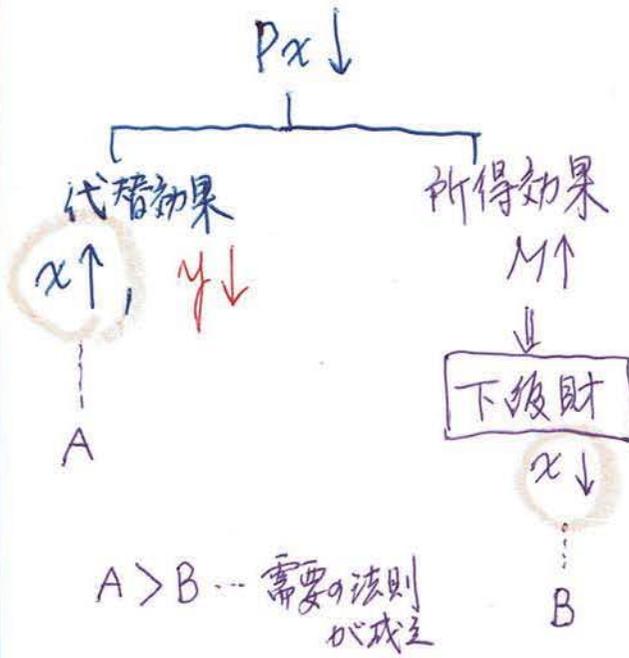
需要の法則は成立する

需要の法則が成立しない。



$P_x \downarrow$
 <下級財>
 $M \uparrow \rightarrow x \downarrow$

ギョウジノ財



$A < B$... 需要の法則が成立しない
ギョウジノ財

MOGI economics
research centre

〈価格の下落〉

$P_x \downarrow$

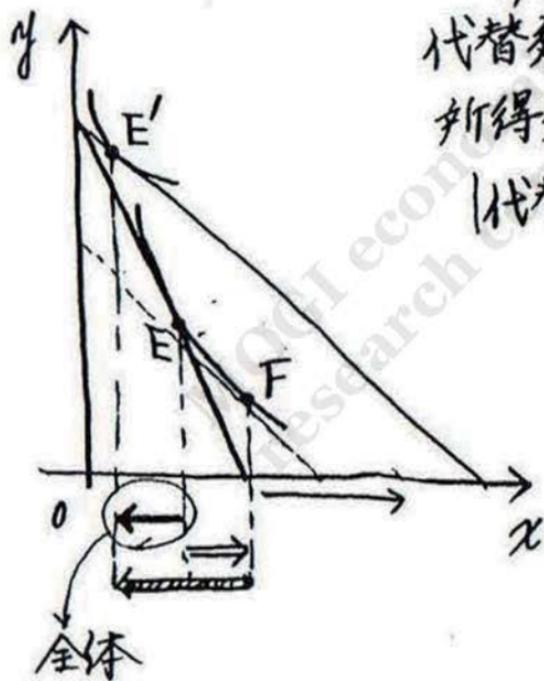
〈ギブス財〉

需要の法則が成立しない。

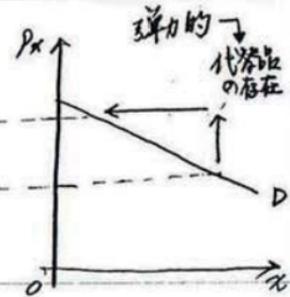
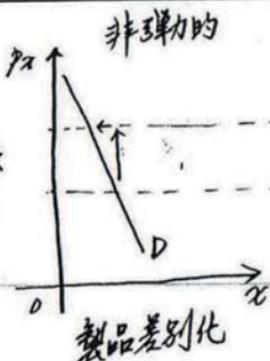
代替効果 \Rightarrow }

所得効果 \leftarrow }

|代替効果| < |所得効果|



消費者
↓
需要曲線
<2ヶ-ス>
P75



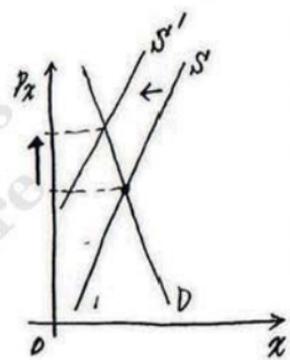
P75

P79

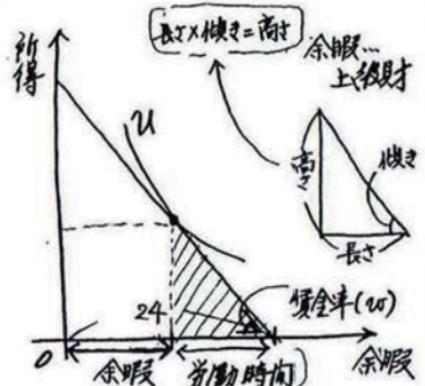


改訂版、洋泉社版をお使いの方はこちらのページを参照してください。

製品差別化



労働供給
P82
(P86)
↓
賃金率の変化
P85
(P89)

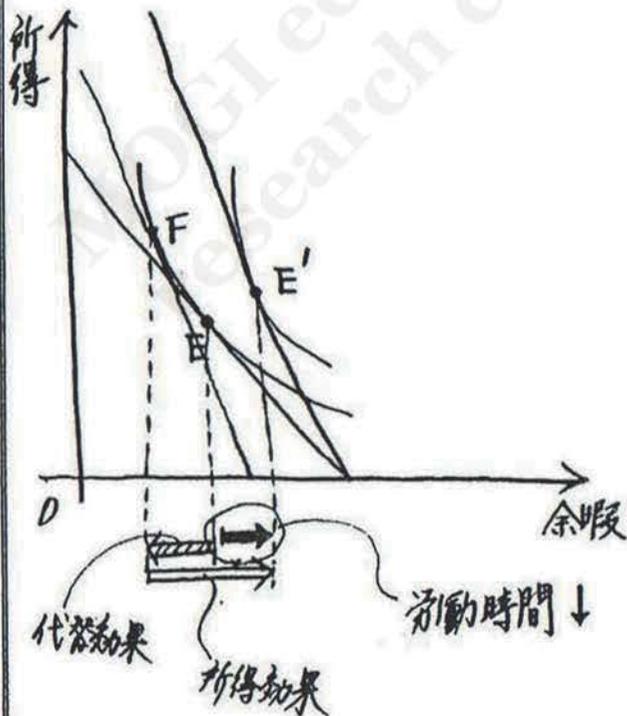
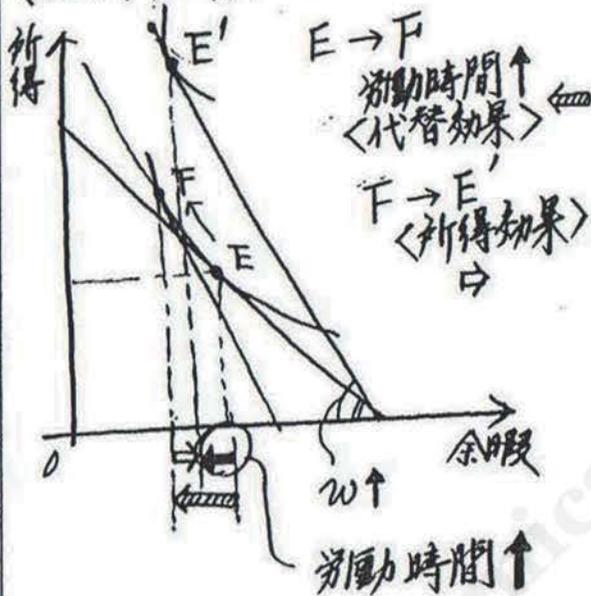


予算制約式
所得 = (24 - 余暇) × w
(労働供給量)

<低所得層>

<高所得層>

賃金率の変化
↓ P85
↓ P89
労働供給
曲線

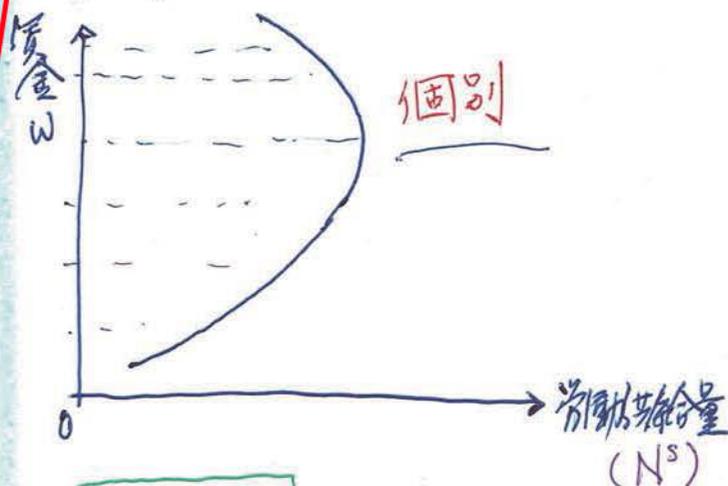


労働供給曲線 (N^S)

賃金 \Rightarrow 労働供給
(労働時間)

p131

p137



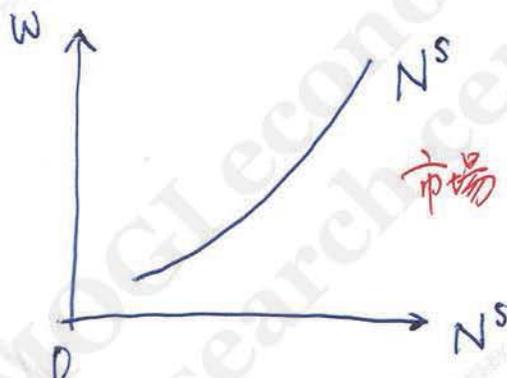
賃金上昇

代替 $>$ 所得
(絶) (絶)

$N^S \uparrow$

代替 $<$ 所得
(絶) (絶)

$N^S \downarrow$

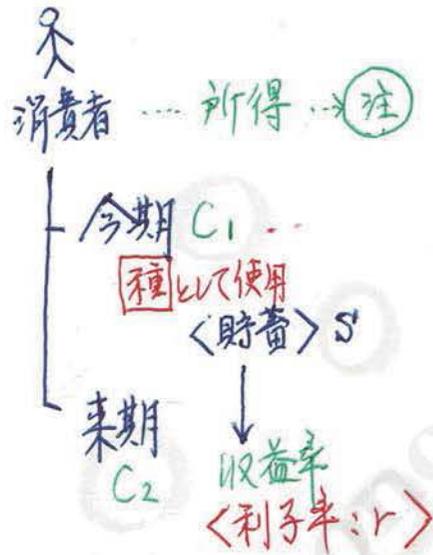


改訂版、洋泉社版をお使いの方はこちらのページを参照してください。

異時点間の消費

p88

p92

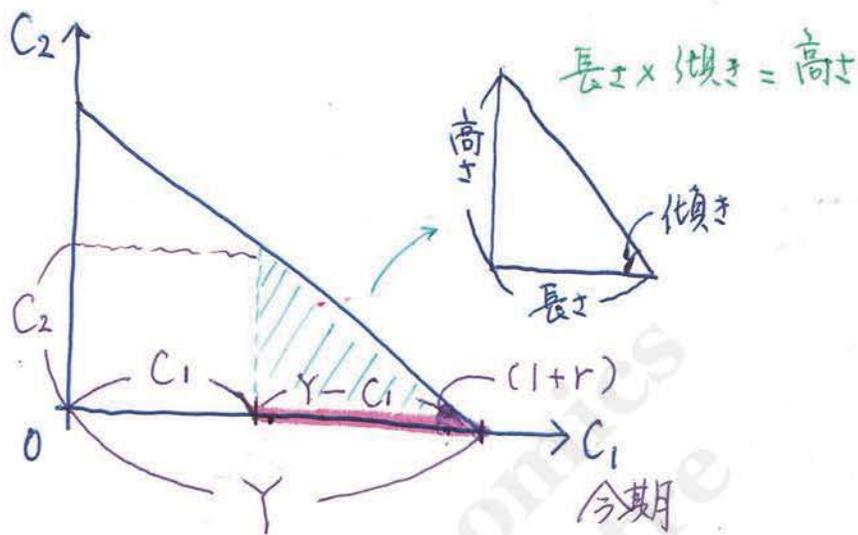


MOGI Economics
research centre

予算制約式
(緑)

所得... 今期のみ (Y)

予算制約



$$Y - C_1 = \text{貯蓄 } S$$

予算制約式

長さ \times 傾き = 高さ

$$(Y - C_1) \cdot (1+r) = C_2$$

$$(Y - C_1)(1+r) = C_2 \quad (1+r) \text{ で割る}$$

$$(Y - C_1) = \frac{C_2}{1+r}$$

$$Y = C_1 + \frac{C_2}{1+r}$$

所得... 今期 (Y_1) ある場合
来期 (Y_2)

今期のみ所得... $C_2 = (Y_1 - C_1)(1+r)$

↓

今期と来期に所得... $C_2 = (Y_1 - C_1)(1+r) + Y_2$

↓ $(1+r)$ で割る

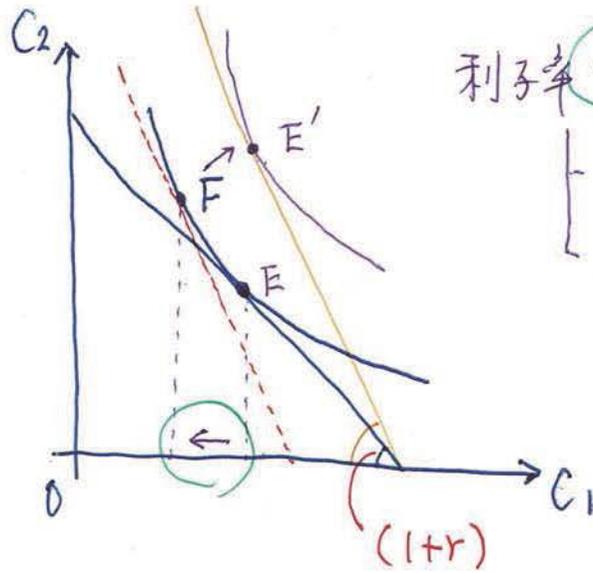
$$\frac{C_2}{1+r} = (Y_1 - C_1) + \frac{Y_2}{1+r}$$

$$C_1 + \frac{C_2}{1+r} = Y_1 + \frac{Y_2}{1+r}$$

異時点間消費

代替
所得

利子率
の変更



利子率 ↑ 貯蓄は少可

代替効果
E → F

所得効果

F → E'

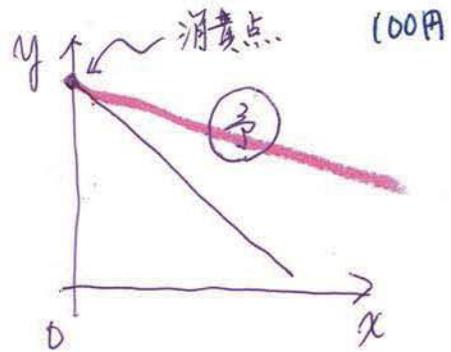
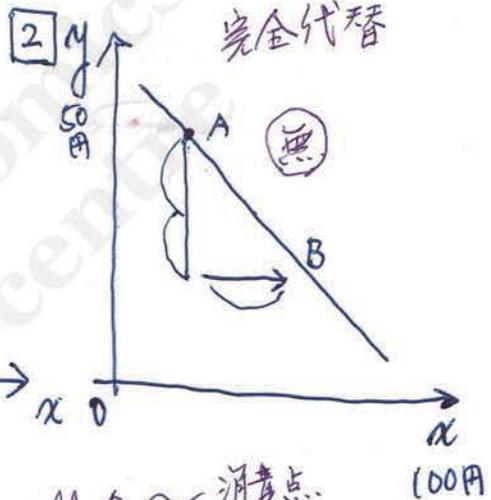
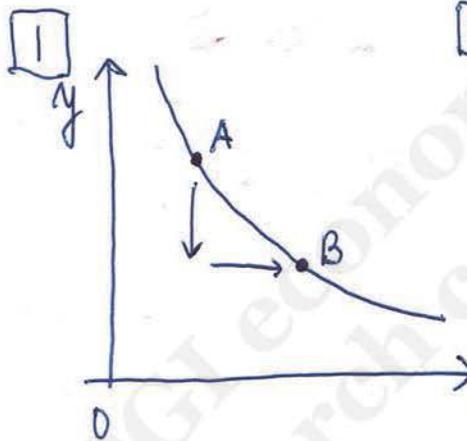
<個人差>

利子率上昇

無差別曲線の
の種類

p92

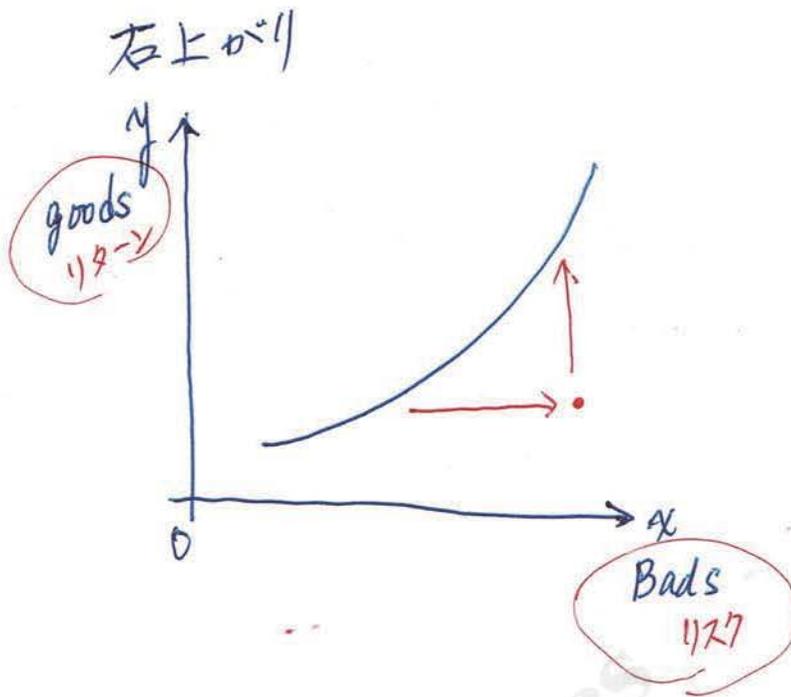
p96



改訂版、洋泉社版をお使いの方はこちらのページを参照してください。

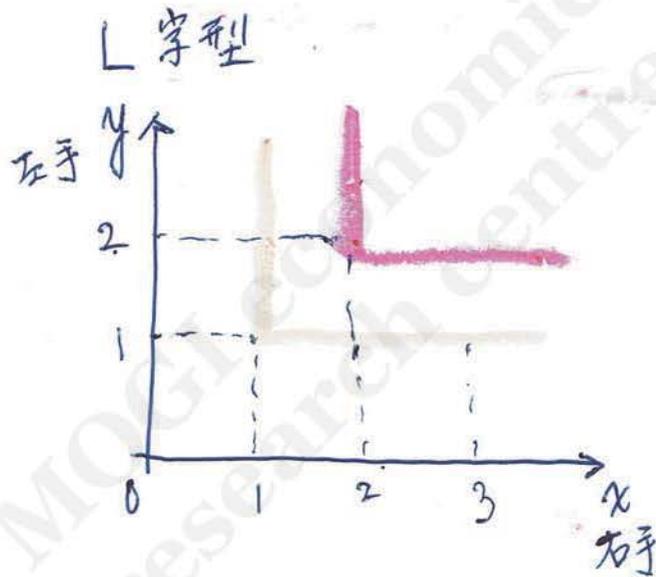
3. p93

P97



6. 94

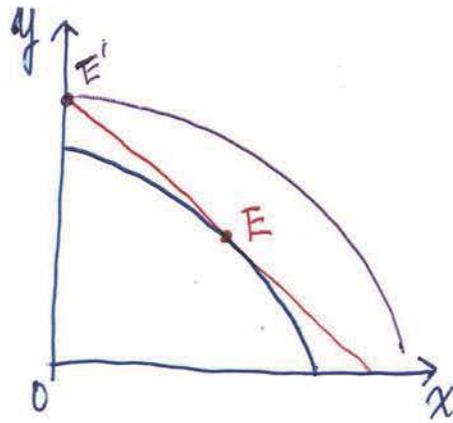
98



7

p95

p99



凹型



どちらか一方



改訂版、洋泉社版をお使いの方はこちらのページを参照してください。

MOGI economics
research centre